

**製品名: HIPK2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84317**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 131 kDa ; Observed MW: 130,100 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HIPK2
別名	hHIPk2; Hipk2; Nbak1; Stank;;HIPK2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9H2X6
免疫原	ヒト HIPK2 由来の合成ペプチド

**背景**

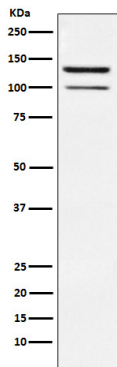
転写制御、p53/TP53 を介した細胞アポトーシス、および細胞周期制御に関与するセリン/スレオニンプロテインキナー

ぜ。SMAD1、POU4F1/Brn3a、そしておそらく NK ホメオドメイン転写因子を含む複数の転写因子のコリプレッサーとして作用する。PDX1、ATF1、PML、p53/TP53、CREB1、CTBP1、CBX4、RUNX1、EP300、CTNNB1、HMGA1、ZBTB4、および DAZAP2 をリン酸化します。

## 研究分野

-

## 画像データ



HT-1080 細胞溶解物中の HIPK2 発現のウェスタン ブロット解析。